



2024年8月8日

各 位

会 社 名：富士製薬工業株式会社
代表者名：代表取締役社長 岩井 孝之
(コード：4554 東証プライム市場)
問合せ先：取締役 常務執行役員
経営企画部長 森田 周平
T E L：03-3556-3344

株式報酬制度の継続に伴う第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式報酬として自己株式の処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 処分の概要

(1) 処 分 期 日	2024年8月27日
(2) 処分する株式の種類 及 び 数	当社普通株式 38,019 株 (うち取締役向け株式交付信託に対し 24,043 株、 執行役員向け株式交付信託に対し 13,976 株)
(3) 処 分 価 額	1株につき 1,202 円
(4) 処 分 総 額	45,698,838 円
(5) 処 分 予 定 先	三井住友信託銀行株式会社（信託口） (再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口）)
(6) そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社は、当社取締役（社外取締役を除きます。以下も同様です。）を対象とする株式報酬制度（以下「取締役向け株式報酬制度」といい、当該制度の導入のために設定した信託を「取締役向け株式交付信託」といいます。）ならびに当社執行役員を対象とする株式報酬制度（以下「執行役員向け株式報酬制度」といい、「取締役向け株式報酬制度」と併せて「本制度」と総称し、また、執行役員向け株式報酬制度の導入のために設定した信託を「執行役員向け株式交付信託」といい、「取締役向け株式交付信託」と合わせて「本信託」と総称します。）を導入し、現在まで継続しております。

取締役向け株式報酬制度は、取締役の報酬と株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とし、執行役員向け株式報酬制度は、執行役員の当社の業績や株価への意

識を高めることにより、業績向上を目指した業務執行を一層促進するとともに、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的としております。

取締役向け株式報酬制度の概要につきましては、2017年11月16日付「株式報酬制度の継続に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、取締役向け株式報酬制度の継続については、2017年12月20日開催の第53期定時株主総会において承認されております。

本自己株式処分は、本信託の受託者である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口））に対して行うものであります。

処分数量につきましては、本制度導入に際し当社が制定した取締役株式交付規程及び執行役員株式交付規程に基づき、延長した信託期間（2024年1月1日～2026年12月末日）中の当社取締役及び執行役員の役員及び構成推移等を勘案のうえ、当社取締役及び執行役員に交付すると見込まれる株式数に相当するものであり、その希薄化の規模は、2024年3月31日現在の発行済株式総数24,753,800株に対し、0.15%（2024年3月31日現在の総議決権個数242,882個に対する割合0.16%。いずれも、小数点以下第3位を四捨五入）となります。

当社としましては、本制度は当社取締役及び執行役員の報酬と当社株式価値の連動性を明確にし、中長期的には当社の企業価値向上に繋がるものと考えており、本自己株式処分による処分数量及び希薄化の規模は合理的であり、流通市場への影響は軽微であると判断しております。

（ご参考）取締役向け株式交付信託に係る信託契約の概要

委託者	当社
受託者	三井住友信託銀行株式会社 （再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行）
受益者	取締役のうち受益者要件を満たす者
信託管理人	当社及び当社役員から独立した第三者
議決権行使	信託の期間を通じて、本信託内の当社株式に係る議決権は行使いたしません
信託契約日	2017年12月29日
信託の期間	2017年12月29日～2026年12月末日（予定）
信託の目的	取締役株式交付規程に基づき当社株式を受益者へ交付すること

（ご参考）執行役員向け株式交付信託に係る信託契約の概要

委託者	当社
受託者	三井住友信託銀行株式会社 （再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行）
受益者	執行役員のうち受益者要件を満たす者
信託管理人	当社及び当社役員から独立した第三者
議決権行使	信託の期間を通じて、本信託内の当社株式に係る議決権は行使いたしません
信託契約日	2017年12月29日
信託の期間	2017年12月29日～2026年12月末日（予定）
信託の目的	執行役員株式交付規程に基づき当社株式を受益者へ交付すること

3. 処分価額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、最近の株価推移に鑑み、恣意性を排除した価額とするため、2024年8月7日（取締役会決議日の直前営業日）の東京証券取引所における終値である1,202円といたしました。取締役会決議日の直前営業日の終値としたのは、取締役会決議日の直前の市場価値であり、算定根拠として客観性が高く合理的なものであると判断したためです。

当該価額については、取締役会決議日の直前営業日の直近1ヵ月間（2024年7月8日～2024年8月7日）の終値平均1,408円（円未満切捨て）からの乖離率が△14.63%、直近3ヵ月間（2024年5月8日～2024年8月7日）の終値平均1,460円（円未満切捨て）からの乖離率が△17.67%、あるいは直近6ヵ月間（2024年2月8日～2024年8月7日）の終値平均1,546円（円未満切捨て）からの乖離率が△22.25%となっております（乖離率はいずれも小数点以下第3位を四捨五入）。

上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、処分予定先に特に有利なものとはいえ、合理的と考えております。

また、上記処分価額につきましては取締役会に出席した監査役全員（3名、うち2名は社外監査役）が、処分価額の算定根拠は合理的なものであり、処分予定先に特に有利な処分価額には該当せず適法である旨の意見を表明しております。

4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

以 上